



新築時にぜひ検討したい、便利で使いやすい “玄関収納”

ニューノーマル
にも対応！

便利で整理整頓が簡単、しかもオシャレな玄関を実現できる「玄関収納」をご検討されませんか。「玄関収納」は靴だけではなく、散らかりがちな様々なモノを収納できる空間です。玄関から続く土間空間の延長になるため、屋外で使用するベビーバギーやゴルフバッグなども置くことができます。さらにコロナ禍の今、外の汚れは玄関で落とし、室内まで持ち込まないように考えることも大切です。



玄関にウォークイン収納

玄関から靴を履いたまま入れるウォークイン収納を設置することで、様々なメリットが生まれます。ベビーバギーやゴルフバッグはもちろん、広さを確保すれば清掃用具、レインコート、帽子、アウトドア用品なども収納できます。また、外出時に使うコートや上着を掛けられるクローゼット仕様にすれば、帰宅してすぐに上着やバッグを収納でき便利です。玄関ホールに収納を設けるために余分に3畳ほどの空間を設けることになりますが、毎日をより快適に暮らせ、住宅の満足度はより高くなります。気になる設置コストですが、玄関ホールを広く設計する必要はありませんが、空間確保がメインとなるため、仕様にもよりますがそこまで余分にかかる事はないと思われます。



収納できるタイプです。

家族とお客様の動線をはっきり分けることができるので、玄関は常にスッキリした状態をキープできます。デメリットは、動線を確保するため収納量が少なくなることです。

また「玄関収納」を設けることで、玄関が狭く感じるようなら、鏡を設置することで空間全体を広く見せることもできます。さらに玄関に鏡があれば、お出掛け前の身だしなみチェックにも活用できます。鏡を設置する場合、使い勝手の良さや室内の明るさを考慮すると、やはり土間空間の壁に設置するのがおすすめです。

室内に細菌を持ち込まない

最近の家づくりのポイントになるニューノーマル仕様としての「玄関収納」についても考えてみましょう。これまでコートやバッグなどを室内へ持ち込み収納するのが一般的でしたが、「玄関収納」を設置することで外の汚れは玄関で落とし、室内に持ち込まないようすればより衛生的に過ごすことができます。様々なモノを置く収納スペースを確保した大きめのシューズインクローゼットなら、リビングや室内にウイルスを持ち込む可能性を減らすことができます。さらに「玄関収納」の近くに手洗いを設けておくとより衛生的になります。



考慮しておきたいポイント

使いやすい「玄関収納」をつくるため、いくつかのポイントを紹介します。まず、動線によりウォークインとウォークスルー2つのタイプに分けることができます。ウォークインは出入口が1ヶ所で収納量を重視する方におすすめで、イメージは玄関横にある室内の物置。ウォークスルーは出入口を2ヶ所作り、人が通り抜けられるようにして、動線の中でモノを

迷ったら、経験豊富な
ハウスメーカーに聞いてみよう！

